

第1回 首都圏広域地方計画協議会／議事要旨

日 時：平成20年10月24日（金）13：30～15：30

場 所：グランドプリンスホテル赤坂 五色2F「紫雲・青葉の間」

◇議事要旨

- (1) 首都圏広域地方計画区域・首都圏広域地方計画協議会構成員について
 - (2) 首都圏広域地方計画策定に関連したスケジュールについて
 - (3) 首都圏広域地方計画中間整理について
 - (4) 新しい首都圏の実現に向けた地域の戦略プロジェクトについて
- 上記について、事務局より資料説明を行った。

会長挨拶

- (茨城県) ■日本が世界各国に埋没しないよう、首都圏としても恵まれた資源をフル活用し、さらなる集積を図るような計画にしたい。
- 世界各国から首都圏への来訪意向が高く、その受け皿として、茨城空港も首都圏の第3空港としての役割を担っていきたい。

討議内容（順不同）：

- (山梨県) ■リニアを本計画の中で位置づけてもらいたい。
- 東京・埼玉西部に膨大な潜在需要があるため、横田基地については羽田・成田の負担軽減する意味からも、この軍民共用化の取組みもしっかり位置づけてほしい。
- 中央自動車道の小仏トンネル付近では、圏央道が開通すると、更なる渋滞が予想されることから、これへの対処を本計画に位置づけてもらいたい。
- 自然エネルギー、バイオマスなどを活用していきたい。
- 山梨での植樹林による二酸化炭素削減分を横浜の企業が計上する仕組みづくりなど、自治体レベルでの創意による温暖化対策を進めていきたい。
- (東京都) ■羽田空港の昼間の国際線発着枠の拡大などの取組が重要。
- 横田空域の全面返還と横田基地の軍民共用化を進めるべき。
- 三環状道路等の道路ネットワークを集中的に整備することが必要。
- 国際物流の競争力強化のため、京浜三港の連携などによりアジアの主要港に対抗していくことが極めて重要。
- 首都圏として、温暖化等の地球環境問題への積極的対応が必要。
- 首都圏の治水、利水に必要な八ッ場ダムは、群馬県のご理解を得ながら、着実に取組を進めることが重要。
- 震災対策を促進し、首都中枢機能の維持・確保を図ることが極めて重要。
- 2016年のオリンピック・パラリンピック大会の招致実現のため、一層のご支援を願う。
- (川崎市) ■首都圏の交通関係、情報関係のネットワークは非常に重要であるが、効率が非常に悪い状態になっているので早期に整備を進める必要がある。川崎市としては、外環と川崎縦貫の問題などがある。
- 羽田空港、京浜三港と内陸部を結ぶ効率的な交通網のあり方、京浜三港の連携による港湾の効率化について、本計画で重点的に取り上げて欲しい。
- 温暖化対策について、排出削減だけでなく、クリーンエネルギーの供給という側面の重要性を強調するような工夫ができないか。
- (千葉県) ■成田・羽田空港で機能拡充に取り組む中、両空港間の機能的・有機的連携が重要。国交省の21年の概算要求でも両空港間アクセス鉄道の調査が位置づけられたところだが、今後とも、道路網を含めて更なるアクセス強化を進めていきたい。

(神奈川県)

- 中間整理案でも重点的に位置づけられている首都圏における空港機能の強化は重要。
- 地球温暖化対策として特に本県で力を入れて取り組んでいる電気自動車の普及推進を位置づけて欲しい。

(横浜市)

- 日本全体として基幹航路をどの港を活用して維持すべきなのかを議論すべき。
- 成田空港アクセスの強化のための鉄道整備を進めてもらいたい。また、圏央道が整備されれば、首都圏西部からのアクセスがよくなる一方で料金面での課題が残る。
- 集約型都市構造への転換の過程で生ずる過剰な土地の利活用、衰退する住宅団地や地域の再生といった問題をどう扱っていくのか、何らかの方向性を示せないか。
- 横浜からMMにかけた地域は世界的に見てもウォーターフロントの開発としては際だった地域であり、日本の顔づくりプロジェクトにぜひ位置づけて欲しい。

(栃木県)

- 市町村からの計画提案の前に、十分に時間をかけて市町村との意見交換をし、プロジェクトを充実させるようお願いしたい。

(静岡県)

- 交通体系の進展に基づいて静岡と首都圏の関係は密接になってきており、新東名高速、中部横断自動車道の整備に期待している。
- 富士箱根伊豆プロジェクトは、三県知事サミットを開催して協議を進めており、具体の施策内容が伴った地域のモデルプロジェクトとしてPRしたい。
- 富士山周辺地域は世界遺産登録に向けて力を入れているところであり、富士山の重要性を日本の顔づくりプロジェクトに位置づけて欲しい。

(新潟県)

- 大規模地震災害対策について、中越大地震、中越沖地震の経験を踏まえると、グリーンツーリズムなど人的交流を進めることによる非常時の協力体制の構築と、それを支える社会資本整備が肝要。
- 対北東アジア・中国・ロシアという観点からの港湾整備のあり方を検討すべき。

(群馬県)

- 中山間地域では特に人口減少が深刻である。これら地域の近隣中小都市の整備が重要であり、今後、市町村との調整の中で方策を検討して欲しい。
- ハッ場ダムについては、現地の地域づくりも含めて、近隣各県の協力を頂いて、一日も早い整備をお願いしたい。

(千葉市)

- 世代が固まって入居している大規模団地では、高齢化が急速に進む。公的賃貸団地の建替えに併せた福祉施設の併設等の再整備が重要。プロジェクトには、エリアマネジメントなどのソフト施策も記載すべき。

(福島県)

- エネルギー供給という観点で首都圏と密接な関係があることから、引き続きよろしく願いしたい。

[オブザーバー]

(経団連)

- これまでのように国が計画を作成して地方に予算を配分するという仕組みを変え、地域が戦略を立て、自立して経営するという発想が重要。
- ゲートウェイプロジェクトについて、国際競争力向上のために、社会資本整備や高度人材育成の確保と併せて、行政手続の迅速化、簡素化を是非お願いしたい。
- 農山漁村の活性化のための、農商工連携の動きを積極的に後押ししていきたい。
- 広域観光交流の促進には、関係部署の連携強化を図っていくことが重要。国には一層のインセンティブ措置の検討をお願いしたい。

(以上)